IMJ
日本統合医療学会 会報
IMJニュース
No.26
2017年8月25日発行

編集･発行　一般社団法人日本統合医療学会広報委員会 委員長　川嶋みどり　URL：http://imj.or.jp/
〒981-0932　宮城県仙台市青葉区木町5-29　菅原ビル2-A
一般社団法人日本統合医療学会事務局　E-mail：imj@imj.or.jp　TEL：022-341-2410

巻頭言

インド･アジアの統合医療事情

木村　慧心
日本統合医療学会業務執行理事
日本ヨーガ療法学会

私たちヨーガ療法がわが国の統合医療研究普及に参画させていただいた契機は，元福島医科大学病院長の熊代永先生のご紹介で，日本統合医療学会創始者である渥美和彦先生を2002年に大阪で開催された私たちの第１回日本ヨーガ療法学会研究総会にお招きし，統合医療に関するご講演を賜ったことがご縁であった（写真１）。その後，鳥取県米子市にある私たちの学会事務局にもおいでいただき，親しくそのお考えを拝聴させていただいてもいる（写真２）。

私たち一般社団法人日本ヨーガ療法学会は，インド五千年の智慧である伝統的ヨーガを，健康促進法として，現代のストレス社会に生きる人々に活用していただくための研究普及活動を旨として設立されている。

一方，全世界的なストレス社会到来とともに，現在のインド政府ナレンドラ・モディ（Narendra Modi）首相の発案を受けて，2014年12月11日の国際連合総会（UNGA）で“国際ヨーガの日”制定が全会一致で宣言され，毎年６月21日には全世界的にヨーガの日が盛大に祝われている。こうしたインド中央政府の施策については，インド国内でもいわゆる“統合医療／伝統医療”の普及政策が図られ，上記の国連総会に先立つ2014年11月９日にはAYUSH省（Ministry of AYUSH：Ayurveda yoga Unani siddha Homeopathy）が統合医療の独立の省として新設されている。

以上を踏まえて2016年12月には，AYUSH省政策の情報収集を目的に，日本からのヨーガとアーユルヴェーダに関連するインドの知的財産関連情報収集派遣団を組織し，在日インド大使館を通して訪印している。この派遣団は（社）日本ヨーガ療法学会が中心になって組織されたが，日本統合医療学会からも小野直哉主任研究員（公益財団法人未来工学研究所）にご同道いただき，貴重なご意見を賜っている（写真３）。

ちなみにインド中央政府は，インド起源のヨーガやアーユルヴェーダを固有の知的財産として保護する施策を展開しており，例えばヨーガに関してはイ

写真１　第１回日本ヨーガ療法学会研究総会

写真２　（社）日本ヨーガ療法学会事務局にて

写真３　AYUSH省大臣室にて

ンド品質管理委員会（Quality Council of India：QCI）を介して国際的なヨーガ指導者資格試験を2015年より実施しており，本年３月末からの４日間，私たち(社)日本ヨーガ療法学会も，インド中央政府からの関係監督官を招いてのヨーガ指導者認定資格試験を実施している。こうした動きは世界的に普及しているアーユルヴェーダ関連の施術者に対してもいずれ実施されることになるかもしれない。

本年秋にはインドから統合医療派遣団が来日する予定であり，日本における関連学会代表との合同会議を持ちたいとの要請が在日インド大使館から寄せられている。

今後はインドばかりでなくアジア全体での統合医療関連の知的財産保護に関する情報交換が必須となる時代が到来すると思われる。わが国側においても統合医療の動きをいち早く開始された渥美和彦先生に，私たちヨーガ療法関係者一同，心より感謝申し上げている昨今である。

IMJ総会・学術大会へのお誘い

第21回日本統合医療学会総会・学術大会

川嶋　朗
大会長
東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科教授

2017年11月25・26日，東京有明医療大学にて第21回日本統合医療学会総会・学術大会の大会長を務めさせていただきます川嶋朗です。

実は今年は，前身の日本代替・相補・伝統医療連合会議発足から20周年にあたります（1998年12月20日砂防会館で産声をあげました）。

発足式から参加し，第６回の事務局長を経験してから15年。いよいよ大役を仰せつかって身の引き締まる思いです。

統合医療は，単に近代西洋医学と相補・代替医療を組み合わせたものではありません。体と心，予防と治療，部分と全体，エビデンスのあるものとないもの，生と死などすべてを統合したものです。私こと川嶋朗は，「統合医療とは，個人の年齢や性別，性格，生活環境さらに個人が人生をどう歩み，どう死んでいくかまで考え，西洋医学，相補（補完）・代替医療を問わず，あらゆる療法からその個人にあったものを見つけ，提供する医療」と定義して，2003年に東京女子医大青山自然医療研究所クリニック所長になって以来，この概念のもとに臨床を実践しています。

河野事務局長によれば，日頃事務局に来る質問は，「統合医療に何ができるのか？」「統合医療で自分の病気が治るのか？」「統合医療はどこで受けられるのか？」ばかりだといいます。大会長を引き受けるにあたり，エビデンスや社会医学も重要ですが，統合医療に求められているのはやはり臨床であるという印象を持ちました。

そこで，今回のテーマは「患者中心の医療Patient-Based Medicine（PBM）」としました（患者中心の医療は本来ならPatient-Centered Medicineですが，EBMやNBMと同列に置くためPBMとさせていただきました）。

そして，今回は，設立30周年を迎えた日本ホリスティック医学協会と共催という，まさにIMJと日本ホリスティック医学協会（ホリ協）の統合も実現しました。合同プログラム，単独プログラム，いずれも充実した素晴らしいものとなりました。

初めての試みとして，患者さんに講演やシンポジストをお引き受けいただき，本当に必要としている医療とはどのようなものか，生の声を聞かせていただきます。

東京有明医療大学は，鍼灸，柔道整復，看護の３学科で構成されている大学です。この３学科の特徴を生かした体験コーナーも準備しております。

もちろん統合医療ですから，最先端からスピリチュアリティまで幅広く，中身の濃いプログラムを用意しました。最先端は人工知能です。IBMにも協力を依頼，東京電気大学の栗原教授に人工知能で近未来の医療はどう変わるか予想していただきます。ホリ協企画ですが，市民公開講座にはあの有名なスピリチュアル・カウンセラーにもご登壇をお願いしました。

海外講師として，チェコからJindrich Marsik医師を招聘し，ヨーロッパの自然医療の１つをご紹介いただきます。

シンポジウムでは，癌や疼痛，そして予防についてエビデンスを中心に議論します。

ワークショップも初めて登場するものも含めてIMJ，ホリ協共に多彩でしっかり学べます。

過去数年の大会とは異なったイメージの大会です。どのセッションにも参加したくなるようなメニューで，（良い意味で）ご参加の皆様を困らせることになるかと存じます。

医療従事者であるなしにかかわらず，友人知人をお誘いの上，ぜひご参加ください。

第21回日本統合医療学会メインプログラム

大会テーマ：患者中心の医療
Patient-Based Medicine（PBM）
大　会　長：川嶋　朗（東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科教授）
名誉大会長：櫻井康司（学校法人花田学園＆東京有明医療大学理事長）

特別講演

1．ラドン療法（放射線ホルミシス）（仮）
Jindrich Marsik（Head Physician, Padium Palace, Jachymov, Czech Republic）
2．&3．私の統合医療体験講演（仮）
「がん経験者が体験した統合医療（仮）」
宮崎ますみ（女優）＆渡部芳徳（医師，ひもろぎクリニック院長）
4．呼吸による心身の健康法（仮）
本間生夫（東京有明医療大学学長）

日本統合学会・日本ホリスティック医学協会合同企画

特別対談（名誉理事長特別講演）
渥美和彦（東京大学名誉教授・日本統合医療学会名誉理事長）
帯津良一（帯津三敬病院名誉院長）

教育講演

「人工知能，スーパーコンピューターで近未来の医療はどうなるか？（仮）」
栗原　聡（電気通信大学大学院教授）

シンポジウム

1．患者シンポジウム：統合医療に携わる医療者に望むこと
2．統合医療女性の会企画：女性医療の現状；性暴力・性的虐待について
3．&4．&5．統合医療シンポジウム：あなたが患者ならどの医療を選ぶ―その特徴と科学的根拠
がん：漢方薬，鍼灸，放射線治療，最新治療
慢性疼痛：ペインクリニック，鍼灸，柔道整復，アロマセラピー
健康増進：温泉療法，マッサージ，ヨーガ，食事療法
6．日本統合医療学会・日本ホリスティック医学協会合同シンポジウム：平成医療維新～統合医療＆ホリスティック医学のDr.集合！

ワークショップ

1．ダンスセラピー
オーガナイザー：大沼幸子（東京有明医療大学看護学部看護学科教授）
2．ヒプノセラピー
オーガナイザー：村井啓一（日本臨床ヒプノセラピスト協会代表理事）
3．バイデジタルOリングテスト
オーガナイザー：下津浦康裕（日本バイ・ディジタルO－リングテスト協会副会長）
4．テーピング（後療法，予防）
オーガナイザー：小山浩司（東京有明医療大学保健医療学部柔道整復学科准教授）
5．サイモントン療法
オーガナイザー：川畑のぶこ（NPO法人サイモントン療法協会副理事長）
6．ホメオパシー
オーガナイザー：板村論子（日本ホメオパシー医学会専務理事）

「こだわること」とは「選ぶこと」
～本物の衣・食・住の提案～

現在、国民医療費が年間40兆円を超えた今、様々な方が毎日の生活をされている中で、自分の身体や家族の健康について気になることや、家族の未来について不安になることが取りざたされている中、弊社では四年前より、国民一人ひとりが病気を予防して医療費にでる出費を削減することが大事と考え、より安全な食品、本当に良い水、役に立つ健康機器、病気を予防するための医療機器など、少し高くても本当に信頼出来る商品をトータルに品揃え出来る店を目指して、全国をまわり良いモノだけを仕入れ販売する店を目指して参りました。

ひとの身体は、衣・食・住がバランス良く満足の出来るレベルに常に保つ事が大切です。食べるモノだけを気をつけておられる方々が多い中、着るモノ、住む家にも健康になる事をキーワードに地域に根付き、お客様のトータルライフをデザインしご提案をするお店です。

弊社では、
「身体が喜ぶ。衣。とは何か？」
「身体が喜ぶ。食。とは何か？」
「身体が喜ぶ。住。とは何か？」
を、コンセプトに商品選定をしております。

単に「無農薬表示のみ、生産者名記名のみ、エビデンスのない誇大な広告、国や学会の認定や許可のないモノ等」が多く販売されていますがこれを「担保する」モノが有りません。

弊社では取扱う農産物や加工食品の産地証明のみならず栽培管理表や製造工程表の把握や商品に対するエビデンスを収集し、精査、そして国や学会での裏付けのあるもののみを全国から集めました。

Select Shop こだわりもん

吉武カンパニー株式会社
福岡県春日市春日原東町 2-6
TEL 092（572）8088

7．病気や近づく死の体験の中で苦悩する患者・家族が，人生の意味を見出すことへの支援（仮）
オーガナイザー：遠藤恵美子（ニューマン理論・研究・実践研究会理事長）

体験コーナー

鍼灸，マッサージ，キネシオ，アロマセラピー

日本ホリスティック医学協会オリジナルプログラム

特別講演

1．ホリスティックケアとしてのSAT療法
宗像恒次（筑波大学名誉教授，ヘルスカウンセリング学会会長）
2．ホリスティックな心理学の現在と未来
久保隆司（日本ソマティック心理学協会会長）
3．「愛の宇宙方程式」と湯川秀樹博士の「素領域理論」
保江邦夫（ノートルダム清心女子大学教授・情報理学研究所所長）

ホリスティックヘルス塾レベルアップ講座

1．ホリスティックな健康観を伝える喜び～ヘルス塾インストラクター参上！
2．“（疲労・）肥満・睡眠・運動・食生活”の最新知見～ホリスティックな健康指導のために
「肥満は熟睡して痩せる～「3・3・7」睡眠ダイエットとは」
左藤桂子（左藤桂子ヘルスプロモーション研究所所長）
「脳科学からみた生活習慣病～デフォルトモードの重要性」
目黒謙一（東北大学高齢者高次脳機脳医学教授）
「糖質制限の本質とは～人間はケトン体と仲良くできるのか」
宗田哲男（宗田マタニティクリニック院長）

ワークショップ

1．模擬ホリスティック医療塾
本宮輝薫，愛場庸雅
2．エネルギー療法
市江雅芳
3．臨床瞑想法
大下大圓

トークセッション：医療大麻の真実
福田一典（銀座東京クリニック院長）
林真一郎（東邦大学薬学部客員講師）

ホリスティック・ネットワーク

1．ホリスティック・ライフスタイルネットワーク
天外伺朗（ホロトロピックネットワーク代表）
鈴木規夫（インテグラル・ジャパン代表）
2．植物療法ネットワーク
林真一郎（日本メディカルハーブ協会副理事長，グリーンフラスコ代表）
林サオダ（バッチホリスティック研究会代表）
3．スピリチュアリティ＆エネルギーケアネットワーク
山本　忍（日本アントロポゾフィー医学の医師会理事）
神尾　学（ホリスティック・リーディング研究所主宰）

市民公開講座

日本ホリスティック医学協会企画
江原啓之
日本統合医療学会企画
やましたひでこ

詳細は，
http://jointconference2017.net/program/
をご覧下さい。
なお，一般演題の登録は，
http://jointconference2017.net/application/
で開始しております。
事前参加受付は，
http://jointconference2017.net/registration/
からどうぞ。

事務局だより

【会議開催報告】

■2017年4月13日　IMJ業務執行理事会（八重洲ルノアール）
■2017年7月15日　IMJ臨時理事会（東京大学教育研究棟第8セミナー室）

【学会事業報告】

■2017年3月17日　IMJ賛助会員，学会役員懇談会（東京市ヶ谷アルカディア）
■2017年3月28日　IMJスプリングセミナー（東京大学医学図書館333室）
■2017年7月15日　日本キューバ統合医療シンポジウム（東京大学鉄門記念講堂）
■2017年7月17日　日本キューバ統合医療シンポジウム（京都大学稲盛財団記念館大会議室）
■2017年7月16日，17日　平成29年度第1回認定資格セミナー（東京大学教育研究棟第5，第6セミナー室）
■2017年7月22日，23日　IMJ第6回サマーセミナー（福島県郡山市磐梯熱海　華の湯）

【今後の学会事業予定】

■2017年9月3日IMJ九州ブロック大会（久留米市）
■2017年10月1日　第1回100人委員会（東京大学医学図書館333室）
■2017年10月1日　平成29年度教育セミナー（東京大学医学図書館333室）
■2017年10月28日，29日　平成29年度第2回認定資格セミナー（東京大学教育研究棟第6セミナー室）
■2017年11月25日，26日　第21回日本統合医療学会大会（東京有明医療大学）

（文責：事務局長　河野　明正）

編集後記

●7月，日本とキューバ両国の共通する社会的課題の解決に向けて，日本統合医療学会仁田理事長とキューバ共和国生体エネルギー・自然医療学会フィゲロア副理事長により，包括的学術協定の調印式が行なわれました。その記念の第1回のシンポジウムが東京と京都で開催され，国際的な視野のもとで何をなすべきかの示唆を得ました。何よりも健康長寿を実現するために有用な統合医療を究め，国民の多くの方たちとともに日本の医療の核にしていくことが求められます。そこで今年の学術大会テーマ「患者中心の医療」。奮ってご準備下さいますように。（川嶋みどり）